

事業所名

生活クラブ風の村あかとんぼ作草部

支援プログラム(参考様式)

作成日

2025年

3月

1日

法人(事業所)理念	『あかとんぼ号「わくわく」発「豊かな未来」行き』 1. 「あかとんぼ」は、こどもたちが安全で自分らしく過ごすことができる楽しい居場所を目指します。 2. 「あかとんぼ」は、遊びを通して、本人の得意とする力を伸ばすとともに、苦手なことが少しでも軽減できるよう支援します。 3. 「あかとんぼ」は、こどもたちの将来を見据えて「生活力」を高められるよう支援します。						
支援方針	<ul style="list-style-type: none"> ・主体性を中心に据えよう ～決めつけず、まずは気持ちを確認する～ ・never say never ～できないと決めつけない～ ・「関心」こそが専門性 ～サインを見逃さない～ ・医療的ケアは本人の生活の一部 ～医療的ケアは“特別”じゃない～ ・あなたとわたしはパートナー ～わたしたちは共生している～ 						
営業時間	放課後時	10時	0分から	18時	0分まで	送迎実施の有無	あり
	終日時	9時	0分から	17時	0分まで		
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ●当事業所は生活サイクルの一部であることを認識して「連続性」を大切にするために、引継ぎ時や計画作成時等には必ずご家族・学校等から必要な情報をヒアリングします。その上で水分・エネルギーが足りているか、体力消耗や体調・気分はどういう状態かを把握し、当日の過ごし方や支援の内容を適宜判断して対応します。 ●睡眠のリズムを安定できるよう、ご本人の体力や体調に配慮しつつ、できる限り利用時間中は起きて楽しく過ごしていただけるよう支援します。 ●過度な体力消耗や褥瘡防止等のため、車椅子に乗っている時間が長くなりすぎないように床に降りて身体を緩める時間を適時設けます。 ●正しい姿勢を保持して健康な身体を守るため、学校やリハビリ職と共通の課題に取り組みます。 <ul style="list-style-type: none"> ・「体温・体調確認」…来所時及び終日利用時は昼食後に体温・体調を確認します ・「スヌーズレン」「ハンモック」「バランスボール」「音楽活動」等…緊張を緩和することで側弯等を防止し、健康な身体を守ります ・「調理レク」…食事は健康の基本であることを理解し、少しでも食べる楽しさを知っていただくよう、口から食べることに、おいを嗅ぐこと、調理レク等の面から支援します ・「足浴」「アロマ」…血の巡りを良くするためアロマオイル等を使いながら楽しむ 					
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ●正しい姿勢を維持するため、ボディイメージの正しく捉えたり平衡感覚を育むため、様々な姿勢を取れるように支援します。 ●正しい姿勢を保持して健康な身体を守るため、学校やリハビリ職と共通の課題に取り組みます。 <ul style="list-style-type: none"> ・「音楽活動」等…音を感じて楽しみながらボディイメージを意識したり、機能向上できるよう支援します ・「バランスボール」「ハンモック」…平衡感覚を養います ・「立位」「歩行」…足底で体重や重力を感じるとともに、体内の臓器を正しい位置に戻します ・「足浴」「アロマ」「スライム」等…様々な感覚を身体に入れて過敏・鈍麻の改善、感覚の体験を支援します 					
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ●様々な感覚や経験を体験することでご本人の世界を広げられるよう支援します。 ●季節を感じる習慣を身につけることで生活の楽しみを増やせるよう支援します。 ●支援者がこれら行うこと、ご本人の身にこれら起きること、ご本人を取り巻く環境のこと等をできる限り言葉やツールを用いてご本人に伝えることで、今まさに何が起きているかをご本人に知っていただき、世界を広げられるよう支援します。 <ul style="list-style-type: none"> ・「散歩」…気候、草花、匂いから季節を体感できるよう支援します ・「外出」…日常的に行くことのできない場所に出向いて過ごすことで、非日常を体験する機会を提供します ・「各種ゲーム」…競争、成功、失敗、ルールを理解・体感し、喜怒哀楽を表現できるよう支援します ・「感覚遊び」…様々な完食・感覚・知覚を身体に入れて、道理を理解したり認知力を高められるよう支援します 					
	言語コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ●他者に対して快・不快や喜怒哀楽を伝える力を育むため、各ご利用者のサインを見逃さないよう支援します。 ●他者に自分の意思を伝える術を身につけられるよう支援します。 ●ご本人が理解できるツール(言葉、視線入力、絵カード等)や言葉を選択して用いることで、コミュニケーションの成立とその楽しさを伝えます。 ●支援者がこれら行うこと、ご本人の身にこれら起きること、ご本人を取り巻く環境のこと等をできる限り言葉やツールを用いてご本人に伝えることで、今まさに何が起きているかを共有する存在としてご本人を認めます。 ●できたことだけではなくやろうとしたこと(挑戦・試行)も認めて信頼関係を築きます。 					
	人間関係社会性	<ul style="list-style-type: none"> ●将来的にご本人が新しい環境に身を置いたとしても自己表現(快・不快、喜怒哀楽、意思)でき、相手に伝わるコミュニケーション方法を確立できるよう支援します。 ●様々な年齢・未知の環境に身を置く人と関わる機会を設けることで社会経験を積み、大勢の中に身を置くことで社会性を身につけられるよう支援します。 <ul style="list-style-type: none"> ・「館内散歩」「館内イベント」…高齢者など大勢と関わり楽しみを共有する等の社会経験を積む機会を提供します ・「音楽活動」…音楽を介してお友達と一緒に演奏したり遊んだりして関係性を深めます 					
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> ・モニタリング面談、送迎時を中心にさまざまな話をする中で、ご本人だけではなくご家族の状況も理解するよう努めて可能な限りサポートします。 ・日頃から真摯にご本人・ご家族に向き合うことで信頼関係を築き、なんでも気軽に相談しやすい環境をつくります。 ・家族交流会を年1回以上開催し、保護者及びきょうだい児同士が交流できる機会を提供します。 	移行支援	<ul style="list-style-type: none"> ・入学時、サービス利用開始時、卒業時など生活に変化が訪れるタイミングには他事業所と情報共有し、ご本人・ご家族の心理的・身体的負担を軽減します。 ・自治会イベントに積極的に出かけて地域住民との交流を図ります。 ・近隣への散歩や外出の機会を確保し、地域のこどもや人々と交流します。 				
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・相談支援事業所や併用事業所、学校、医師等と適宜情報共有し、必要に応じて担当者会議を呼掛けたり参加します。 	職員の質の向上	月に1回テーマを決めた研修を開催します。 例) 疾病理解、活動支援技術、介助技術、感染対策、虐待防止、身体拘束、リスクマネジメント、事例検討、等				
主な行事等	例) 外出、プール、ハロウィン、クリスマス、バレンタイン等 ※行事は毎年度はじめに検討・決定しています。						